

実践報告 3

英語表現 I におけるライティングの評価と指導

－パフォーマンス課題とその評価－

愛知県立豊丘高等学校 教諭 白井 敬子

1 実践のねらい

本校は各学年全日制普通科6クラスと生活文化科2クラスがある。「自主・創造，敬愛・連帯，健康・安全」を教育目標として，家庭や地域から信頼される学校づくりと生徒の夢を実現できる学校づくりを目指している。普通科はほぼ全員が4年制大学に進学し，生活文化科も4年制大学を含め，およそ9割の生徒が進学している。47分7限授業を毎日実施し，授業時間の確保と指導の充実に努めている。

(1) 生徒の学びの現状

ペア・ワーク，表現活動や音読などに活発に取り組む生徒が多い。さまざまな活動を取り入れ，英語力の向上を目指しているが，即興性のある活動やクラス全体への発表となると，まだまだ慎重な生徒も多い。

(2) 指導と評価における課題

「英語で伝える能力」を育成するために，英語による口頭発表やライティング活動を授業に多く取り入れている。評価については，活動当日や活動後に教員からのフィードバックや生徒同士の相互評価を行い，ライティングの評価は定期考査の中で点数化して行っている。生徒による言語活動のいっそうの充実を図るとともに，身に付けさせたい英語力を生徒に明確に提示し，生徒の活動を適切に評価した上で，その結果を生徒に還元することができるような体制を構築することが大きな課題となっている。

(3) 身に付けさせたい力

本実践では，特に「書くこと」に焦点を当て，言語や文化についての興味・関心を高め，積極的に英語を使って表現する態度を身に付けさせるとともに，日本や地元の伝統的なものや文化について，キーワードを基に書いて説明する力を育成する指導と評価の在り方を探っていく。

2 実践の計画

(1) 学習指導計画

ア 言語活動の工夫

日本の伝統的なものや文化についての説明を聞き，その内容を口頭で他の生徒に伝える活動を取り入れる。さらに，ものの説明に使うのに効果的な表現をキーワードとし，それを基にして，各自が選んだ話題について紹介文を英語で書かせる。

イ ワークシートの工夫

2時間の授業の展開に応じて効果的に利用できるように，ワークシートの構成を工夫した。キーワードや伝えたい内容を書き込めるようにするとともに，紹介文についての評価規準や自己評価等の内容も盛り込んだ。さらに，受動態に関する解説や問題演習部分についても，最終目標である紹介文の

作成に必要な言語材料を定着させるための指導と位置付けて、ワークシート内に取り入れた【巻末資料】。

(2) 評価計画（パフォーマンス課題・ルーブリック）

2限目の学習活動において、制限時間を設け、事前に考えさせたキーワードを基に、「日本や地元の伝統的なものや文化についての紹介文」を即興で書かせる。「伝統・文化の説明をキーワードを用いて書くことができる」、「文法、綴りなどに気を付けて書くことができる」の2項目を評価規準として設定し、ルーブリックを用いて評価する【資料1】。その際、本実践では内容面に特に指導の重点を置いていることから、前者の評価に重みを付ける。評価規準は今回限りのものとはせず、別の単元においても「書くこと」の評価に継続的に使用できるようにする。また、生徒に到達目標を意識させるために、この評価規準を事前に生徒に提示する。生徒が書いた紹介文は、評価した後に評価結果とともに生徒に返却する。

【資料1 日本や地元の伝統的なものや文化についての紹介文のルーブリック】

観点	評価規準	採点基準 ()内は点数
外国語表現の能力	伝統・文化の説明をキーワードを用いて書くことができる	A(7) キーワードを使い、具体的な項目を三つ以上含めて説明している B(5) キーワードを使い、具体的な項目を三つ入れて説明している C(3) キーワードを使い、具体的な項目を入れて説明している
て言語や文化についての知識・理解	文法、綴りなどに気を付けて書くことができる	A(3) 誤りはほとんどなく、説明内容が十分伝わる B(2) 誤りは多少あるが、説明内容は伝わる C(1) 誤りが多く、内容理解を妨げる

(3) 単元構想

ア 使用教材

教科書：MY WAY English Expression I (三省堂)

Lesson 8 興福寺の阿修羅像

イ 単元の目標と言語活動

【単元の目標】

- ・日本の伝統的なものの説明を聞いて、その内容を口頭で伝えることができる。
- ・日本や地元の伝統的なものや文化に目を向け、キーワードを用いて英語で書いて説明できる。
- ・受動態の使い方が理解できる。

【言語活動】

- ・日本の伝統的なものについて、聞き取った内容についてメモを取り、ペアで伝え合う。
- ・日本や地元の伝統的なものや文化について英語で紹介文を書き、口頭で説明する。

ウ 単元のCAN-DO（4技能ごとの学習到達目標の設定）

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	評価方法	学習到達目標	評価方法	学習到達目標	評価方法	学習到達目標	評価方法
・英語を聞いて、その内容を伝えることができる。	・活動の観察	・日本や地元の伝統的なものや文化について、キーワードを用いて英語で書くことができる。	・ワークシート	・相手の発表を聞いて内容を理解し、適切にメモを取ることができる。	・活動の観察		

エ 単元の評価規準（4観点ごとの評価規準の設定）

評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
評価規準	①相手の話を聞きながら、メモを取ったり、うなずいたり、聞き返したりしている。 ②コミュニケーションを図ろうとしている。	①英語を聞いて、その内容を伝えることができる。 ②日本や地元の伝統的なものや文化について、キーワードを用いて英語で書くことができる。	①相手の発表を聞いて内容を理解し、適切にメモを取ることができる。	①受動態について、基本的な使い方を理解している。
内容のまとめ	①②話すこと 聞くこと	①話すこと ②書くこと	①聞くこと	①書くこと 話すこと
評価方法	①②活動の観察	①活動の観察 ②ワークシート	①活動の観察	①活動の観察 定期テスト

オ 指導と評価の計画

時間	ねらい、学習活動、指導上の留意点	評価の観点	評価方法
1	<p>[ねらい] 日本に古くから伝わる伝統的なものや習慣に目を向けさせ、物事の説明を聞いたり、説明したりできる。</p> <p>[学習活動] 英文（写真の説明）を聞いてメモを取り、説明を再現したり、キーワードを使って日本に関することを説明したりする。説明の際に、受動態が有効であることも理解する。</p> <p>[指導上の留意点] ・活動1では、ワークシート①を使う。教科書の写真の説明を聞かせ、必要に応じてメモを取り、ペアで説明の再現をさせる。また、キーワードを使って、日本に関することを説明させる。</p>	関・意・態 表現 理解	活動の観察

2	<p>[ねらい]</p> <p>日本や地元の伝統的なものや文化について、キーワードを基に紹介文を書き、相手に伝えることができる。</p> <p>[学習活動]</p> <p>1 受動態の基本表現を確認する。(教科書の例文と問題の確認)</p> <p>2 日本や地元の伝統的なものや文化について、あらかじめ考えたキーワードを基に説明する英文を書く。書いた内容をペア、グループ及びクラス全体に伝える。</p> <p>[指導上の留意点]</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動1では、物事の説明に使われる受動態を理解させ、表現活動で活用させる。 活動2では、ワークシート①、②を使い、各生徒が選んだ話題について、キーワードを使用して英語で説明させる。 	<p>表現 理解 関・意・態 知識・理解</p>	<p>活動の観察 ワークシート 活動の観察 定期テスト (後日)</p>
---	--	--------------------------------------	--

カ 言語活動の充実の工夫

【授業の流れ】

第1次＝興福寺の阿修羅像の説明を聞き、説明に使われる受動態の表現を理解する。また、キーワードを使って、日本のことを説明する。

→

第2次＝学んだ内容をもとに、日本や地元の伝統的なものを説明する際に必要なキーワードを考え、それを使って紹介文を書く。

本単元では、日本や地元の伝統的なものや文化に目を向けさせ、それらを英語で伝えることができるようにさせる。また、受動態の基本形や受動態が使われるさまざまな表現についての理解を深め、活動を通して定着を図る。

<第1次>

受動態を含む英文を理解することで、物事を説明する際に効果的に活用できるようにする。

具体的手順：

- ①受動態が何を表現するのに有効かということを理解させる。
- 教科書の写真（興福寺の阿修羅像）を見ながら、説明を2回聞く。聞きながらキーワードをメモする。
 - 説明に必要なキーワードを確認する。(黒板に板書)
 - 興福寺の阿修羅像についての別の説明を聞いて、ワークシート①の穴埋めをする。
 - 聞いた説明内容とキーワードを基に、阿修羅像の説明をする。
- ②受動態を使って物事を説明する。
- キーワードを使って、日本に関すること（ワークシート①の写真）の説明を考える。
- ③物事の詳しい説明をする。
- ここまでの学習活動を基に、富岡製糸場の説明を考える。
 - 写真（日本語新聞記事）を見ながら、必要となる複数のキーワードをペアで考え、更にクラス全体で確認する。
 - 生徒各自でキーワードを使って、富岡製糸場の説明文を書く。
 - 書いた説明文をグループで読み合う。

- ・生徒各自で日本に関する話題（伝統・文化等）を一つ選び、キーワードを考える。（家庭学習）
- ④教科書の演習問題に取り組む。（家庭学習）

<第2次>

日本や地元の伝統的なものや文化に目を向け、学んだ表現を活用しながら、物事の説明ができるようにする。

具体的手順：

- ①受動態が物事の説明をする際に有効であることを確認する。
 - ・前時の復習として、日本に関することについて口頭で説明する。
 - ・教科書の演習問題の確認をする。
- ②ワークシート①、②を使って日本や地元の伝統的なものや文化を紹介する。
 - ・ペアでキーワードの確認や追加をする。
 - ・制限時間内に英語で紹介文を書く。（8分+予備2分=10分）
 - ・書いた紹介文をペアで交換して読み合い、互いに内容の確認や修正をする。
 - ・4人1組のグループで組んで、互いに発表する。
- ③本実践における活動内容について自己評価をする。ワークシート②は教員が評価してから返却する。
 - ・教員が添削して返却した紹介文を、次の授業時に数名を指名し、全体の前で説明をさせる。その際、発表を聞いている生徒はキーワード等をメモする。さらに、メモを基に同じ物事についての説明をさせる。

3 実践と考察

(1) 授業における言語活動の取組状況（グループ・ワークを中心とした活動）

日本や地元の伝統的なものや文化についての紹介文を書かせた後で、4人1組のグループを組んで、一人ずつ発表させ、聞いている生徒にはキーワードを書き取らせた。適切にキーワードを書き取っている生徒が多かった。グループ発表後、各グループから代表一人を選び、クラス全体の前で発表を行った。

(2) 評価の実際

ア パフォーマンス課題とルーブリック

2限目の学習活動において、制限時間を8分とし、事前に考えさせておいたキーワードを基に、日本や地元の伝統的なものや文化についての紹介文を即興で書かせた。さらに、ペアで読み合って推敲したものを提出させ、ルーブリックを用いて評価した（2(2)を参照）。

イ パフォーマンスの評価

「外国語表現の能力」及び「言語や文化についての知識・理解」の二つの観点から、「伝統・文化の説明をキーワードを用いて書くことができる」「文法、綴りなどに気を付けて書くことができる」の2項目を評価規準として評価し、合計点は10点満点とした。本実践では内容面に特に指導の重点を置いていることから、「外国語表現の能力」を7点満点、「言語や文化についての知識・理解」を3点満点とし、それぞれA、B、Cの3段階で評価した【資料2】。



【グループ・ワークの様子】

【資料2 生徒によるエッセイ：外国語表現の能力評価A＋知識・理解評価Bの例】

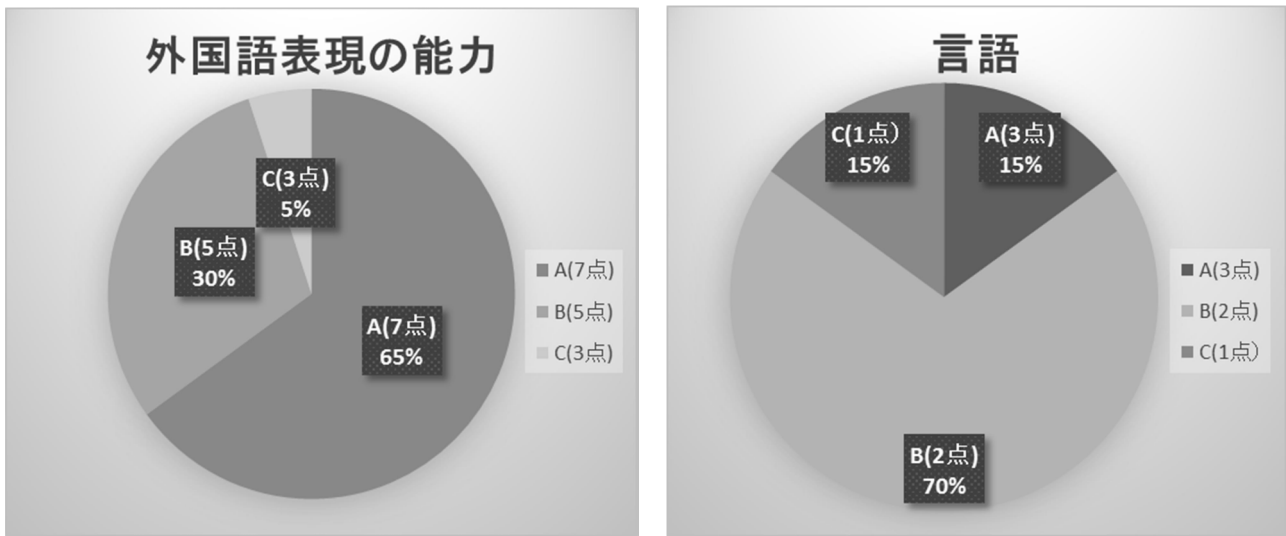
A: Can you tell me something about traditional Japanese culture?

B: I will tell you about Sushi. It is food. It is law fish on rice. We eat this with soysause and we sometimes eat this with Wasabi. It has many kinds. I like “sarmon” and “Inarizushi” very much. Inarizushi is famous in my city. Because my city has the Toyokawa Inari shrine. It has many statues of fox. In a new year, It is full of many people. Why don't you go there in a new year? (原文のまま)

ウ 評価結果の分布

日本や地元の伝統的なものや文化という身近なテーマであったため、大半の生徒が三つ以上の具体的な内容を書くことができおり、生徒にとっては比較的書きやすい課題であったと思われる。一方、文法や綴りなどについては、多くの生徒が評価B以上であったものの、発音や単語の意味は分かっているが正しい綴りで書けない、伝えたい内容が複雑になると文構造が不正確になりがちであるなどの傾向が見られた【資料3】。

【資料3 評価分布グラフ】



エ 生徒へのフィードバック

生徒が書いた紹介文は、ルーブリックに基づいて評価するとともに、添削した上で生徒に返却した。また、グループの代表の生徒が発表した際には、発表内容のよかった点についてのコメントを教員からクラス全体に口頭で伝えた。また、今後の改善が必要な生徒には、英文の書き方のポイント等を個別に伝えた。

(3) 定期考査による評価

各定期考査では、考査範囲に相当する単元で生徒に書かせた英文のテーマの中から1題を選び、書き方や指定語数等の条件を設定して、ライティング問題として出題している【資料4】。

【資料4 2学期中間考査問題例】

助動詞を使い、豊丘高校で守らなければならないこと（学校生活、行事等の中でした方がよいこと、守った方がよいこと）について、転校生に教えるつもりで英文を書きなさい。また、その理由も書きなさい。（9点）

I would like to tell you two rules you should follow here at Yutakagaoka high school.

First, you _____
because _____

Second, you _____

The reason is that _____

I hope you enjoy your school life at Yutakagaoka high school.

(4) 事後アンケート

生徒に紹介文を書かせた後で、自己評価を行わせるとともに、感想を書かせたが、自己評価の結果は総じて高かった。「キーワードを指定して日本文化の写真を口頭で説明する」→「富岡製糸場について説明する」→「日本や地元の伝統的なものや文化を説明する」と、順序立てて段階的に指導を行った結果、多くの生徒が、「自分で書けるようになった」と手ごたえを感じ、自信を高めたと思われる。生徒の感想の中には、「みんなの考える日本の伝えたい文化を知ることができてよかった」「きちんとした英文になったかは分からないけど、自分の力でできてよかった」「もっと単語とかを覚えてたくさんの文を書けたら楽しくなるなと思った」「難しい文章も簡単な日本語に考え直してから英文を作るようにしたい」などが見られた。また、クラスメートがどんな日本文化を大切に思っているのかを知って興味をもった生徒や、自ら選んだテーマについて制限時間内に辞書に頼らずに英文を書くことの難しさを知ること、さらなる向上心を抱いた生徒も見られた。

(5) 考察

ア ねらいの達成状況

日本の伝統的なものに生徒の目を向けさせ、キーワードを用いて説明を書かせる言語活動を単元構想の中心に据えて、「英語で伝える能力」の育成を図った。評価結果から分かるように、「外国語表現の能力」については、評価Aの生徒が全体の約3分の2を占めた【資料3】。地元の食べ物から日本の伝統行事に至るさまざまな内容について、大半の生徒が自ら考えたキーワードを用いて、工夫を加えながら具体的に書くことができおり、当初のねらいをおおむね達成できたと言える。

イ 指導手順について

導入として行ったキーワードを指定して日本文化の写真を口頭で説明する活動を通じて、生徒はキーワードを使いながら順序立てて物事を説明する方法を学ぶことができた。また、富岡製糸場を説明するためのキーワードをクラス全員で考えた上で説明文を書く活動を行ったことで、説明文を書くために必要なキーワードを適切に選び、それをうまく英文に利用するコツを習得できた。日本や地元の伝統的なものや文化についての紹介文を書くという最終目標を達成するために、このような段階的な指導を実施したことが功を奏し、つながりのある指導となったと考える。

ウ 評価方法について

評価規準をあらかじめ生徒に示し、到達目標を意識させることで、生徒は書き方や内容にいつもの注意を払って活動に臨むことができたと思う。また、内容面（キーワードを用いての説明）と言語

面（文法・綴りなど）の二つの観点から、ルーブリックを用いて生徒が書いた紹介文を評価したことで、担当者間で評価の差異が小さくなり、評価の信頼性が高まったと実感している。

4 成果と課題

本実践では、日本の文化についての紹介文を生徒に英語で書かせ、ルーブリックを用いて評価したが、活動としては、生徒にとっては取り組みやすい課題であった。語彙や文法等の誤りがあっても、英文の内容理解を妨げない軽微なものが多く、推測しながら読み進めることのできる英文が大半であった。ルーブリックの「外国語表現の能力」についての評価規準は、生徒にとって目指すべき英語力の指標を与えるものとなり、生徒の学習意欲の向上につながった。一方、「言語や文化についての知識・理解」については、高校2年生の段階として、誤りをどこまで許容するかについての判断基準の設定の難しさを痛感させられた。今後、生徒の英語によるコミュニケーション能力を総合的かつ統合的に高めるために、言語活動のさらなる質的向上を目指してパフォーマンス課題を工夫するとともに、生徒の達成状況に応じて評価規準とルーブリックを改善していく必要がある。

参考文献等

- 国立教育政策研究所教育課程研究センター（2012）『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 外国語）～新しい学習指導要領を踏まえた生徒一人一人の学習の確実な定着に向けて～』国立教育政策研究所
- 新潟県立教育センター（2013）『英語授業でのパフォーマンス評価について（パフォーマンス評価様式）』<<http://www.nipec.nein.ed.jp/sc/gaikokugo/index.html>>
- 文部科学省（2009）『高等学校学習指導要領』文部科学省

ワークシート① **Lesson 8** 興福寺の阿修羅像【受動態1】

Listening & Speaking Listen to the explanation and write down keywords below.

Grammar in Use

Listen and fill in the blanks.

The Kofukuji () () () the Fujiwara in 669. It is famous for the statue of Ashura. The statue () () () wood, linen, and Japanese lacquer. Ashura has () () and () () and is very beautiful.

Practice Describe the following things using keywords.

- | | | | | |
|-----------------|-----------------|--------------------|--------------------------------------|----------------|
| <i>natto</i> | <i>tofu</i> | <i>kabuki</i> | <i>shichigosan</i> | <i>Mt.Fuji</i> |
| make / soybeans | make / soybeans | play / male actors | celebrate / November 5 th | cover / snow |

USE! Introduce traditional Japanese cultures!! 受動態を使って、日本の伝統的なもの(習慣・文化)について紹介しよう。
Example: 興福寺の阿修羅像

I will tell you about the statue of Ashura. The statue is in the Kofukuji. The temple was built by the Fujiwara in 669. The statue of Ashura was made by the order of Empress Komyo in the eighth century. It is made of wood, linen, and Japanese lacquer. It has three faces and six arms. The statue is admired by people all over Japan. (7文)

Practice

Original

①紹介するもの 【富岡製糸場 _____ 】	①紹介するもの。伝えたい日本のものは？
②説明に必要なキーワード(単語・熟語)	②説明に必要なキーワード(単語・熟語)は？

Practice

I will tell you about Tomioka Silk Mill. _____

USE! ★具体的な説明項目を入れて書く。使ったキーワードには下線を引く。辞書は使わない。

A: Can you tell me something about traditional Japanese culture?

B: I will tell you about _____

Teacher's evaluation (教員評価)

観点	評価規準	採点基準 (Bが標準)	
外国語表現の能力	伝統・文化の説明をキーワードを用いて書くことができる	(A) キーワードを使い、具体的な項目を3つ以上含めて説明している (7点) (B) キーワードを使い、具体的な項目を3つ入れて説明している (5点) (C) キーワードを使い、具体的な項目を入れて説明している (3点)	/ 10
言語	文法、綴りなどに気を付けて書くことができる	(A) 誤りはほとんどなく、説明内容が十分伝わる (3点) (B) 誤りは多少あるが、説明内容は伝わる (2点) (C) 誤りが多く、内容理解を妨げる (1点)	

Listen to your classmates' short speeches and write some keywords below.

聞きながらメモ欄

Self-Evaluation(自己評価)

- ① キーワードをもとに、物事の説明を英語で相手に口頭で伝えることができた
- よくできた まあまあできた あまりできなかった できなかった
- ② キーワードを適切に選び、身近にある日本の伝統や習慣のことを書いて伝えることができた
- よくできた まあまあできた あまりできなかった できなかった
- ③ 受動態の使い方が理解できた
- よくできた まあまあできた あまりできなかった できなかった
- ④ 英語で説明を書いてみて、大変だったことや出来上りを読んでの感想・その他のコメント